

病棟とのつながり

病棟で学習をしている児童生徒も、学校での取組を病室で実施できるように教材を工夫し、個々の実態とニーズに応じた授業を行っています。

授業中は画面を通して仲間とつながったり、行事にも参加をしたりなど、場を隔てていても、『仲間と共にあること』を大切にしています。



生活単元学習

生活単元学習では、友達同士の関わりや、周囲の人たちへの働きかけを展開の中で大切にしています。

自分たちの活動が他に何らかの影響を及ぼすことや、『ありがとう』と言ってもらえる経験を大切にしています。

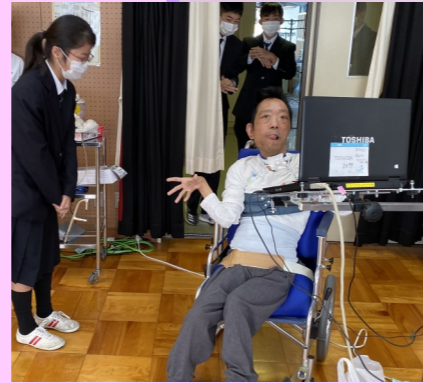


集団の保障

卒業後の豊かな生活

在学中に学校生活で経験する集団での活動や個のニーズに応じた取組が、卒業後に活かされるよう願っています。

『自立と社会参加』卒業後、自分の好き、得意を活かして社会参加をする。豊かな生活の実践者がここにあります。



重心教育部

～hotto～ ほんと

〈研究テーマ〉

集団の保障と個のニーズに応じた授業作り

～多面的な児童生徒の理解と評価～

目指す児童生徒像

思いを表現し、仲間とともに

力いっぱい生きる児童生徒



自立活動

「健康の保持」「身体の動き」を中心に、個々の実態に応じた活動を、一日のはじまりの活動として行っています。身体的なアプローチにとどまらず、信頼関係の構築や心理的な安定などもねらいにして、集団及び個別に取り組んでいます。

ほととのすべての取組の基盤となる、大切な活動です。



ICT機器の活用



児童生徒の中には、随意的に動かすことのできる体の部位を動かして、スイッチ操作、タブレット型端末操作、意思伝達装置を使った文字入力など、個々に応じた方法で、ICT機器を活用しています。

日々進化する情報社会に対応できるよう、職員も研修会を実施して学びを深め、卒業後の豊かな生活を目指して、『可能性を追求する』姿勢を大切にしています。



教科学習等

自立活動・生活単元学習を中心に、学年や個別のニーズに合わせて教科学習（ほんとスタディ）にも取り組んでいます。

理科の実験、家庭科の調理、音楽など学期ごとに数時間行います。

自立活動の内容の他、他者との関係や『感覚への働きかけ』、自己肯定感、自己有用感、達成感などを培うことにもねらいをおいています。



個のニーズ